

教授 富田 かおる (Kaoru Tomita)

研究シーズ

【外国語】

専門

英語音声学

研究キーワード

母語と外国語の音声比較

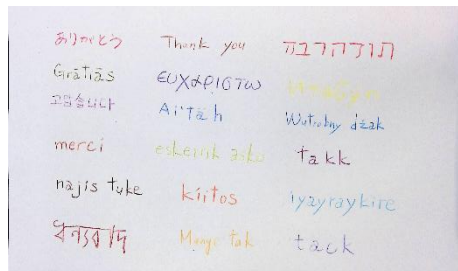


研究テーマ

外国語音声の理解に視覚化がどう役立つか

研究の概要

外国語を聞き取ろうとする時、馴染みの無い表現や理解を超える概念については、耳から入ったはずの音が、うまく処理されずに終わってしまう場合がある。分けが解らないなど感じる、しかし、よくある体験であろう。ここで、空気中を流れて耳から入り、神経に到達する音の波を、もし目で見る事が出来れば、どれだけ助かるであろう。音声は自然によって生み出されたものであるが、この視覚化として代表的なものは、人類が作りあげた文字体系である。もちろん、言語には文字を持たないものもあるが、母語や学習対象である多くの外国語は、そのほとんどが文字を持つ言語である。文字を持たない言語は、この世界から消えて無くなってしまいう事もあるのに対し、文字を持つ言語は、長い年月を経た記録が、世代を越えて受け継がれている。話者数が、不幸にも、例えば政治的に、また歴史的な理由により減少しても、学習や教育や種々の活動により復活する事も期待出来る。文字に加えて、画像や動画も、音声と共にさせる事で、その理解を助ける役目を果たしている。外国語音声の理解に、視覚化がどう役立つかについて、文字や画像、動画を組み合わせて提示する事により、音声により伝えられた内容の理解がどう深まるかについてを研究課題としている。これに関しては学習者の調査や言語実験を繰り返し行ってきた。例えば、登場人物が、分かりにくい所を友達や先輩、先生に質問し、お互いに答えあったり、話し合ったりする中で、難解な事柄も少しずつ分かる様になると言う漫画のシリーズがあるが、このやり方を外国語音声の理解に応用してはどうかと考えている。音声の視覚化による外国語理解の促進について種々試してみたいと思っている。



セールスポイント

外国語の習得について、伸び悩んでいる方の話を聞き、その課題をとことん追求する事に遣り甲斐を感じている。

想定される用途・応用例・活用例

・英語が上手く聞き取れない、話せない、書けない、読めない場合に具体的な解決法を提示する。